

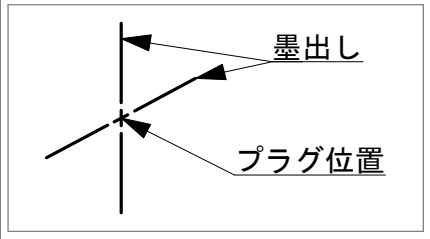
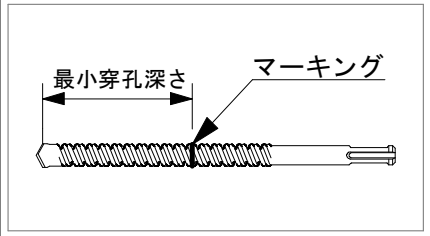
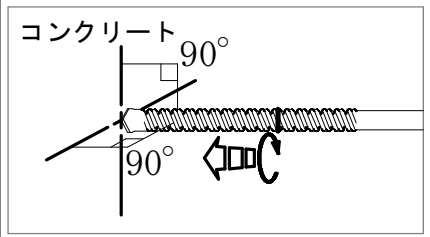
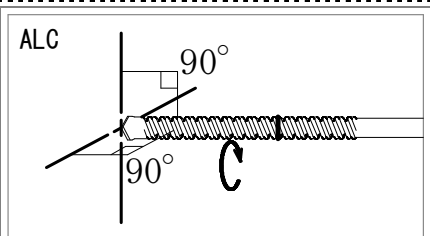
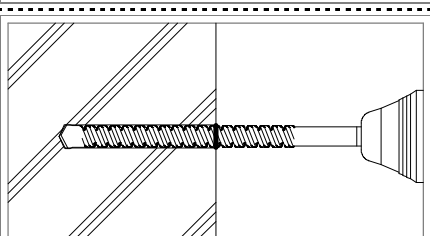
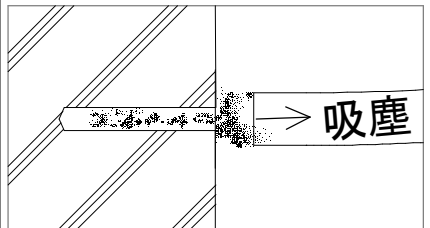
フィッシャープラグ SX 6x30、SX 8x40 作業手順書

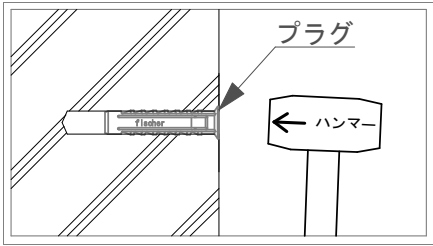
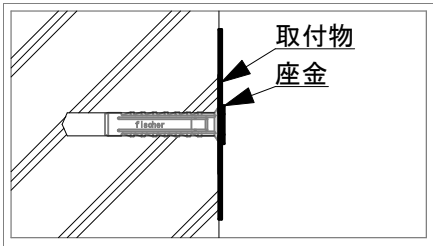
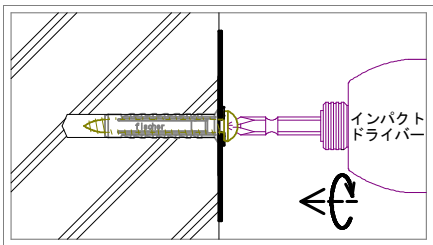
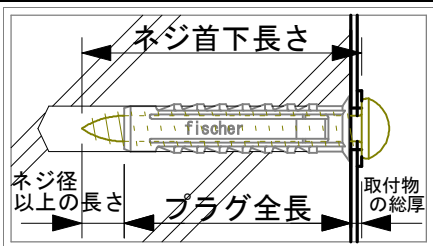


SX 6x30



SX 8x40

<p>1</p>	<p>● 墨出し</p> <p>プラグを打設する位置へ穿孔の前に墨出しをする。</p>										
<p>2</p>	<p>● ドリルビット</p> <p>コンクリート用で規定のドリルビットの選択と穿孔深さのマーキング。</p> <table border="1" data-bbox="391 929 718 1019"> <thead> <tr> <th>フィッシャープラグ</th> <th>ドリル径</th> <th>最小穿孔深さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SX 6x30</td> <td>6 mm</td> <td>40 mm</td> </tr> <tr> <td>SX 8x40</td> <td>8 mm</td> <td>50 mm</td> </tr> </tbody> </table>	フィッシャープラグ	ドリル径	最小穿孔深さ	SX 6x30	6 mm	40 mm	SX 8x40	8 mm	50 mm	
フィッシャープラグ	ドリル径	最小穿孔深さ									
SX 6x30	6 mm	40 mm									
SX 8x40	8 mm	50 mm									
<p>3</p>	<p>● 穿孔</p> <p>コンクリートの場合は、打撃と回転で穿孔。</p> <p>※ コンクリート表面に対して垂直に穿孔。</p> <hr/> <p>● 穿孔</p> <p>ALC の場合は、回転のみで穿孔。</p> <p>※ ALC 表面に対して垂直に穿孔。</p> <p>※ ALC 板を貫通しないよう穿孔。</p> <hr/> <p>● 穿孔</p> <p>規定の穿孔深さの穿孔。</p>	  									
<p>4</p>	<p>● 切粉の除去</p> <p>吸塵機等を使用して、孔内から切粉を除去。</p>										

<p>5</p>	<p>● プラグの挿入</p> <p>ハンマーを使用して、プラグがコンクリート等の表面に面一になるまで孔内へ挿入。</p>	
<p>6</p>	<p>● 取付物</p> <p>取付物を添える。</p> <p>※ 座金が必要な場合がある。</p>	
<p>7</p>	<p>● ネジの締付け</p> <p>インパクトドライバーを使用して、ネジを締付ける。</p> <p>※ 締付け過ぎないようにする。</p>	
<p>8</p>	<p>● 完了</p> <p>※ プラグ先端からネジ径以上の長さを突出する「ネジ首下長さ」を推奨する。</p>	
<p>※ 最小「ネジ首下長さ」= 「プラグ全長」+ 「取付物の総厚」+ 「ネジ径」</p> <p>推奨例) プラグ全長 = 30mm 取付物の総厚 = 取付物厚 + 座金厚 = 0.8mm + 0.6mm = 1.4mm ⇒ 2mm として計算。 ネジ径 = 4.8mm ⇒ 5mm として計算。 最小「ネジ首下長さ」= 「30mm」+ 「2mm」+ 「5mm」= 37mm</p>		

※ ネジは JIS B 1112-1995 (十字穴付き木ねじ)、JIS B 1135-1995 (すりわり付き木ねじ) にもとづいたステンレス木ねじを推奨する。

※ 円筒部が付随しない木ねじも上記 JIS にもとづくステンレス木ねじとする。

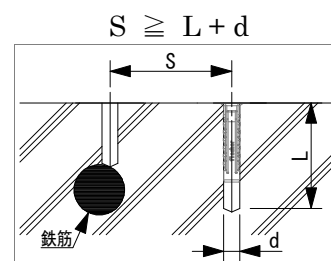
※ 頭部の形状は十字穴付き丸木ねじを推奨とするが、木ねじ締付け中に頭部の穴に変形等が無いステンレス木ねじとする。

注意事項：

- ① 作業をする際、ヘルメット、保護めがね、手袋、耳栓、防塵マスク等を必ず装着する。
- ② 作業において、現場監督の指示に従う。
- ③ 作業前に、プラグ打設箇所における母材（コンクリート、ALC等）に劣化、割れ等が無いことを確認する。
- ④ プラグの繰り返し使用はできない。
- ⑤ 一度使用した孔の繰り返し使用はしない。
- ⑥ 鉄筋に当たった（干渉した）場合：
穿孔中に鉄筋に当たった（干渉した）場合は、管理者にその対処について指示を受ける。

対処例）旧孔の影響がないように別位置に再度の穿孔を行った場合：

- 旧孔から離す距離(S)は、鉄筋の当たった穿孔位置から所定の深さ(L)以上とする。
- 旧孔は、無収縮モルタルなどで充填し補修する。



S：再穿孔する際の旧孔から離す距離

d：ドリル径

L：穿孔深さ